

県内外の視察状況報告

- ・ 黒部市
- ・ 射水市
- ・ 新潟県魚沼市
- ・ 新潟県柏崎市
- ・ 新潟県長岡市

令和4年10月20日（木）
魚津市新庁舎整備検討委員会

富山県黒部市

視察日 令和4年5月31日（火）

黒部市三日市1301番地
人口 40,233人（R4.8）



庁舎の特徴

●「行政棟」と「交流棟」を分けた使いやすい設計

交流棟には、市民サロン、食堂、屋上テラス等、市民も利用可能な施設を整備。棟が分離しているため、夜間は行政棟のみ閉鎖となり、セキュリティ対策が行いやすい。

●保健センターを併設し、検診等のスペースを確保

●オープンフロアの執務スペース、吹抜け構造

<視察の所感>

- 会議室、収納スペースを潤沢に備えており、機能的で使いやすい庁舎
- 有事に備え、災害対策本部用の会議室と市長室・副市長室が隣接して配置されており、機能的な構造となっている
- 1階に総合案内（外部委託）を設置しており、来庁者にとって分かりやすい。来庁者からの評判も非常によいとのこと
- 市民向け施設が充実しており、市民の憩いの場となっている。行政棟と交流棟が分離しており、セキュリティ対策が取りやすい
- オープンフロア、吹き抜け構造の庁舎となっており、明るく開放的な印象を受ける

構造	鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）地上5階建（行政棟） 鉄骨造（S造）地上2階建（交流棟）		
敷地面積	13,755.2㎡	延床面積（庁舎）	9,674.54㎡
着工	平成25年10月	竣工	平成27年9月 （同10月開庁）
総事業費	47.4億円（合併特例債 17.0億円 基金15.0億円等）		
職員数	250名（正職員）110名（会計年度）		
分庁舎・支所	あり	宇奈月サービスセンター（旧宇奈月町役場）	

部署	総務課新庁舎建設準備班
人員	4名（班長、係長、班員2名）全員兼務
検討体制	庁内 4回 外部 6回（委員15名 うち公募2名） ほか 市長のタウンミーティングを実施

基本構想

基本計画

設計

施工

外部コンサル

公募型プロポーザル

一般競争入札

H22.7～H23.7

H24.1～H25.5

H25.10～H27.9

行政棟

交流棟



オープンフロアの窓口



庁議用の会議室



市民サロン



会議室

富山県射水市

視察日 令和4年7月13日（水）

射水市新開発410番地1
人口 91,571人（R4.8）



理念

効率的で質の高い行政サービスを柔軟かつ的確に提供する施設

構造	鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）地上6階建 免震構造		
敷地面積	7,941.60㎡	延床面積（庁舎）	10,452.26㎡ +5,212.15㎡（立駐）
着工	平成26年8月	竣工	平成28年9月
総事業費	59.1億円（うち合併特例債 56.1億円）		
職員数	460名（正職員 381名 会計年度 79名）本庁舎344名		
分庁舎・支所	あり	大島分庁舎（建設部）布目分庁舎（水道）	

部署	市長政策室政策推進課 庁舎統合準備班
人員	4名（課長代理、班長、班員2名）うち専任3名
検討体制	庁内 建設調査委員会 外部 基本構想検討委員会 6回 ほか、市長のタウンミーティング、市内団体との懇談会など

庁舎の特徴

- 中央に吹抜け空間のある箱型6階建て庁舎
中央の吹抜けを口の字型の回廊で囲み、外側に各課を配置
中央の吹抜け（エコボイド）には自動換気窓を配備
- 災害に強い庁舎（免震構造、水害対策の止水板）
- 来庁者にとって分かりやすい庁舎（窓口を1階に集約、総合案内を設置）
- 駐車場を立体化し、限られた用地を有効活用

<視察の所感>

- 1階の窓口には番号発券機や窓口案内係が整備されており、来庁者にとって分かりやすく、手厚い体制となっている。また、キッズスペースや授乳室も設置されており、来庁者にやさしい庁舎である
- 職員の休憩・食事スペースが充実している（休憩室は各階に配置）
- 個別の相談室のほか、Web会議等で使用できる小規模の会議室、ワークスペースを整備。庁舎全般に相談、打合せ体制が充実している
- 中央が大きな吹抜け空間となっており、開放的な印象を受ける



①



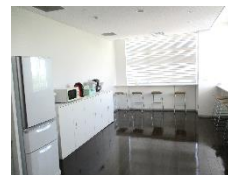
②

①②

中央は大きな吹抜け空間であり、周囲に口の字型で執務スペースが配置されている



③



④

- ③ 県産木材を使用した議場
- ④ 各階ごとに設置された職員の休憩室。会議室や個別の相談室も多くの数を備えている

基本構想

基本計画

設計

3度の
入札不調

施工

市で作成（検討委）

公募型プロポーザル

制限付き一般競争入札

H23.8～H24.1

H24.5～H25.12

H26.10～H28.9

新潟県魚沼市

視察日 令和4年9月5日（月）

新潟県魚沼市小出島910番地
人口 33,993人（R4.7）



理念

市民の安心を支え、市民が集う、まちづくりの拠点となる庁舎

構造	鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）一部鉄骨造（S造）4階建		
敷地面積	7,882㎡（駐車場別）	延床面積（庁舎）	6,929㎡ +300㎡（車庫）
着工	平成30年6月	竣工	令和2年3月
総事業費	29.9億円（うち合併特例債 28.4億円）		
職員数	296名（正職員 238名 再任用 5名 会計年度 53名）		
分庁舎・支所	あり	ガス水道局、北部庁舎	

部署	財政課管財室新庁舎建設係
人員	3名（係長1名、係員2名）いずれも専任
検討体制	庁内 プロジェクトチーム（月1回程度開催）外部 なし 市民説明会、市民対話集会、パブリックコメント等を実施

庁舎の特徴

- 約7,000㎡の非常にコンパクトな庁舎
- 雪国の生活環境に適応し、災害に強い構造

庁舎周囲には軒下空間（雁木テラス）を配置。雨や雪に濡れず移動ができるほか、軒下空間で市民向けイベントも実施可能

- 地元産木材（スギ、ブナ）を内外装に使用
- 市民ロビーのほか、壁面には展示ギャラリーを設け、市民の憩いの場を形成

<視察の所感>

- 地元産木材をふんだんに使用しており、木の温もりに包まれた庁舎（ただし、木材の調達には苦労したとのこと）
- 床下空調を採用しており、空調の効きはかなりよく、快適である
- ICカードによる入退室管理となっており、セキュリティが高いが、オープンフロアの執務室は外部から侵入可能な構造となっている
- 庁舎面積、整備費用が抑えられているが、その分執務室はかなり手狭な印象がある



①



②



③



④

- ①空調は床下空調で、床面の吹き出し口から風が流れている
- ②椅子やカウンター、天井などに地元産木材を使用
- ③日よけ、雨・雪よけになり、市民向けのイベント等でも使用される「雁木テラス」
- ④議場は横向きでフラットな構造

基本構想

基本計画

設計

施工

市で作成
※候補地評価は外部委託

H26.9～H27.6

公募型プロポーザル

H27.10～H29.11

一般競争入札

H30.6～R2.3

新潟県柏崎市

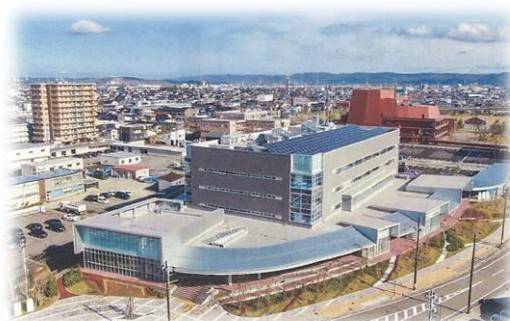
視察日 令和4年9月5日（月）

新潟県柏崎市日石町2番1号

人口 79,270人（R4.8）

理念

「市民が安心して暮らせるよりどころとなる庁舎」「協働によるまちづくりの拠点となる庁舎」「さらなる未来をめざす柏崎市のシンボルとなる庁舎」



庁舎の特徴

● 市民に開かれた庁舎

1階に市民ロビー、FM局、多目的ホールを整備
市民向けに開放されており、電車・バスの待合場所として利用
市民に開かれた議会とするため、議場を1階に配置

● 再生可能エネルギーを活用し、環境に配慮した庁舎

エコボイド（自然換気）、太陽光発電、雨水利用（トイレ）
地中熱利用（融雪）など

● 市民スペースとセキュリティエリアを明確に区分けした庁舎

<視察の所感>

- ICカードによる入退室管理で、執務スペースには職員しか立ち入れない構造となっており、セキュリティが高い。打合せスペースが人目に触れないバックヤードに配置されるなど、情報セキュリティも高い
- 総合案内を配置しているほか、窓口が（課名ではなく）目的別に表示されており、来庁する市民にとって分かりやすい導線となっている
- 市民向け施設が充実し、市民に開かれた庁舎となっている
- 空調は全面床吹出しによる空調となっており、床からの風はほとんど感じないが、十分な空調性が保たれている。また空調の集中管理が導入されている
- 執務スペースには多くの部署が詰め込まれており、やや手狭である

構造	鉄筋コンクリート造（RC造）、鉄骨造（S造）、一部鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造） 4階建 免震構造		
敷地面積	18,825.7㎡	延床面積（庁舎）	9,990.58㎡ +1,450.14㎡（車庫）
着工	平成30年8月	竣工	令和2年10月
総事業費	68.1億円（地域振興基金22億、合併特例債10億、エネルギー庁補助金3～4億、積立等）		
職員数	1,545名（正職員 894名 会計年度 651名）うち本庁舎600名		
分庁舎・支所	あり	上下水道局、分館2館（こども・福祉部局） 市民プラザ（教育委員会）等	

部署	総務課新庁舎整備室		
人員	9名 専任3名（室長、係長、室員）＋兼務6名		
検討体制	庁内 15回 外部 計画策定 6回 設計者選定 3回 市民アンケート、市民説明会、パブリックコメントを実施		

基本構想

基本計画

随意契約

H27.5～H28.1

設計

公募型プロポーザル

H28.4～H30.3

施工

随意契約

H30.8～R2.10



市民ロビー



多目的ホール



執務スペース



議場

新潟県長岡市

視察日 令和4年9月5日（月）

新潟県長岡市大手通1丁目4番地10
人口 262,100人（R4.9）

理念

「長岡広域市民の『ハレ』の場となる新しい長岡の顔づくり」

名称
アオーレ長岡



庁舎の特徴

年間利用者 **56万人**（R3）

- JR長岡駅と直結する複合型公共施設
- NPO法人が運営する、市民協働の拠点の場
- 「ナカドマ」（解放空間）から「アリーナ」へ
- 庁舎機能の分散によるサービス低下を避けるため、ワンフロアの「市役所なんでも窓口」を設置

構造	鉄筋コンクリート造（RC造）一部鉄骨造（S造） 地上4階地下1階建		
敷地面積	14,938.8㎡	延床面積（庁舎）	35,485.08㎡
着工	平成21年12月	竣工	平成24年2月
総事業費	131.4億円（合併特例債51億、国交付金29億 等）		
職員数	2,343人（うち正職員数1,743名）		
分庁舎・支所	あり	市民センター、大手通庁舎、他支所等多数 ※市役所機能を駅前に分散配置している	
検討体制	庁内 庁内部会 外部 市民委員会（計15回） ほか 市民ワークショップ、地域別懇談会 等		

＜視察の所感＞

- 市民協働・交流の場として理想的な空間が形成されている
市民が主体となり、行政が市民の活動を下支えしている
- 駅前中心市街地の賑わい復活に貢献している
- 大胆な組織改革により、市民にとって便利なワンストップ型の窓口を実現している
- 整備事業費、施設の維持管理費が膨大となる
- 分庁舎も含め、広大な延床面積を必要とする



ソフト・ハード同時進行

基本構想

基本計画

設計

施工

市で作成（市民委）

コンペ評価方式

制限付き一般競争入札

H19.5～H20.3

H18.6～H21.10

H21.12～H23.2

①ナカドマ・アリーナ 屋根付き広場のナカドマと、5,000人収容のアリーナ。大規模イベントにも使用可能な、全天候型の巨大空間。

②なんでも窓口 ワンストップでサービスを提供。担当職員が窓口まで駆けつけて対応する。 ③スカイデッキ JR長岡駅から直結。雨や雪に濡れず移動できる

④市民交流ホール・市民協働センター NPO法人が運営。ホールや会議室を備え、市民団体等が利用している。一般の利用は無料、営利用は有料。

自治体名	魚津市 (現庁舎)	黒部市	射水市	魚沼市	柏崎市	長岡市
庁舎写真						
竣工	昭和42年9月	平成27年9月	平成28年9月	令和2年3月	令和2年10月	平成24年2月
構造	RC造4階+塔屋2階	SRC5階+S造2階	SRC造6階	SRC（一部S）造4階	RC,S,一部SRC造4階	RC（一部S）造 地上4階地下1階
敷地面積	13,300㎡	13,755.2㎡	7,941㎡	7,882㎡	18,825.7㎡	14,938.8㎡
延床面積 (本庁舎)	6,953.7㎡（現庁舎） 10,000㎡ ※統合後の想定面積	9,674.54㎡	10,452.26㎡	6,929㎡	9,990.58㎡	35,485.08㎡
事業費 (合併特例債)	70億円※想定事業費	47.4億円	59.1億円	29.9億円	68.1億円	131.4億円
	—	あり（17億円）	あり（56.1億円）	あり（28.4億円）	あり（10億円）	あり（51億円）
人口	40,127人	40,233人	91,571人	33,993人	79,270人	262,100人
正職員数	326名	250名	381名	238名	894名	1,743名
入居する部局	市長部局	市長、教委、水道、 保健センター	市長、教委	市長、教委	市長	市長（窓口部署のみ）
分庁舎	教委、水道、健康セ	地域支所（宇奈月）	建設、水道 各地区センター	水道、地域支所	教委、水道、こども、 福祉、各地域支所	市長（その他） 教委、水道、各地域支所
庁舎の 主な特徴		行政棟＋交流棟	中央吹抜けの箱型庁舎	コンパクトな庁舎	市民に開かれた庁舎	駅舎と直結の複合施設
		保健センター併設	災害に強い庁舎	雪国の環境に適応	再生可能エネルギーを 利活用	NPO法人が運営
		オープンフロア、 吹抜け	立体駐車場を整備	地元産木材の使用	高セキュリティの庁舎	ワンストップ窓口を 整備

● 視察した全5自治体はいずれも合併自治体であり、整備事業費に合併特例債を活用している。整備事業費は庁舎規模によって異なるが、延床面積が約10,000㎡の自治体（黒部・射水・柏崎市）に絞ると、47.4億円～68.1億円となっている。